

令和5年度 第2回まちづくりミーティング

令和5年8月26日（土）14時00分～

ものづくり会館 研修室

諸江、浅野川、鞍月、栗崎、川北、

大浦校下（地区）

(1) 市長あいさつ

【村山金沢市長】

皆さん、こんにちは。本日は、まちづくりミーティングを開催しましたところ、土曜日というお休みの時期にもかかわらず大勢集まっていただきました。本日は、諸江、浅野川、鞍月、栗崎、川北、大浦、6地区の方々にお集まりをいただきました。

今現在、新たな都市像を策定しているところでありますけれども、昨年度は各地域の方々からご意見を伺いたいということで、将来の都市像について、金沢市のあるべき姿について私からお話をさせていただき、その後、意見交換をさせていただきましたが、今回は、従来の形でまちづくりミーティングを開催させていただくことにいたしました。

従来の形で開催するのは平成29年以来というということで、もう6年ぶり、私となつてからはもちろん初めての開催であります。この間、人口減少が進む。あるいは地域によってそれぞれ差はありますけれども少子・高齢化が進んでまいりました。また、令和2年6月1日には金沢港クルーズターミナルが開港いたしましたし、その後、来年2月には金沢スタジアムが竣工、供用開始となつてまいります。

そうした様々な変化がある中で、地域経済にも大きな影響があると思っておりますけれども、地域の活性化とともに、それによる課題というの、また新たに発生してくると思っております。そういったことにも意を用いながら、今後の課題についてともに考える、そういった機会とさせていただきたいと思っております。

本日は、いただいた地域課題あるいは共通課題のほかに、会場で、いただいた課題以外にも意見交換をする場を設けさせていただいております。今日十分にお答えできない場面もあるかと思っておりますけれども、その部分につきましては後ほど回答させていただきたいと思っております。限りある時間ではありますけれども、有意義な意見交換ができればと考えてございますので、ぜひよろしくご意見申し上げます。

(2) 地域代表あいさつ

【川北地区町会連合会 会長】

こんにちは。皆さんお疲れさまです。

今日は、まちづくりミーティングということで、各町会の方々並びに地域の方々が大勢お越しいただいております。

地域における課題は多々あると思います。それを事前に市のほうにお伝えいたしまして、今回、回答とともに、これからどういうふうな方針で持っていただかかということをお話していただく予定でございます。

今日は、そうそうたる金沢市の局長さん、全てお越しになっているみたいで、市長さんをはじめとして市のほうからの回答も期待しているところでございます。

それから、それ以外に、時間的に余裕がありましたら、皆さんのほうからもいろいろと質問等あると思いますので、ぜひともこの際に聞いておきたいということは率先して聞いていただきたいと思います。それでは、今日はよろしく願いいたします。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

①歴史を生かすまちづくり（粟崎校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。 ※ 都合により順番を入れ替えて説明、討議しました。

【粟崎校下町会連合会】

確かに小学校の裏山という敷地内にあるんですが、子供たちにとっての遊び場、それは継続していくとしても、散策路を整備することはいけるんじゃないかと思うんですが、今お答えの中にはそれがなくて、ソフト面というのはどういうことになりますか。

【東文化スポーツ局長】

ソフト事業を優先してというふうに申し上げましたのは、御旅屋の森を地域のお宝にして、認定を受けて、それでまずは整備をしていく。その整備という中には、私も拝見しましたけれども、散策路には階段があって、ロープも張ってありますけれども、維持管理も公民館と学校の教職員とPTAの皆さんで、地域学校協働事業として取り組んでいられ

やるというのも校長先生からもお聞きしました。

ただ、その際に、園路の整備をするのにもお金がかかるので、そういうのも使えるんですかということが校長先生からも質問がありました。使えます。大丈夫です。地域のお宝の認定を受けますと、事業の70%で30万円を限度に3年間、支援することができます。そして4年目と5年目は15万円を年間支援することができます。

その活動の中で、地域の皆さんに知っていただいて、それからまたその先が見えてくればいいかなというふうに思っているんですけども、地域のお宝というのは、その地域の皆さんの心のよりどころになるものというふうにも思っておりますので、それに基づいて地域の皆さんの交流活動も増えればいいなというふうに思っております。ぜひぜひご検討いただければなというふうに思います。よろしく申し上げます。

②新築マンションの町会費（諸江地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【諸江地区町会連合会】

本当に市民局長さんが言われたとおり、確かに任意なので、なかなか弱いんですね。地元の間が言っても、なかなかマンション側は、今たまたま大手不動産が平安閣の跡地でマンションをやっているんですけども、やはりなかなか壁が厚いですよ。やっぱり市側のサポートがないと話が進まない。今までもそうですけれども、大手資本が入ってくる中で、地元住民がどう騒いだって耳を傾けてくれません。そういった意味で、強いバックアップが必要だと思います。

【紙谷市民局長】

連長さんのほうから具体的なお話がございました。確かに大手の不動産会社、ディベロッパーの方については、地元が言ってもなかなか受け付けてくれないということは、もしかしたらあるのかもしれませんが。そういった中で、行政が後ろ盾といいますか、可能な限り援護といいますか、まずはつなぐ役目というのをさせていただきたいと思っております。いろんなところでのマンション建設が進んでおりますけれども、それぞれ町会がご苦労されていることに対しては、市としても、できることは限られますけれども、まずは取

り次ぐところで、市という安心感も先方もあると思いますので、地元と町会のことに関してうまくいくようにバックアップできたらなというふうに思っておりますので、よろしくお願いたします。

【浅野川校下町会連合会】

今の問題というのは、やはりこれまでの仕組みの中で、環境が変わる中で、従来の仕組みのままだとどうしても成り立たなくなってきたという事象だと思うんですね。それを回答として、これまでどおり基本的には何とか頑張るしかないですよという回答だったと思うんですが、それで今、問題だからここに挙げている課題だと思うんです。

だからそれを課題として受け止めて、仕組みそのものをどう考えていくか、そういうふうに取り組んでいただくということはできないでしょうか。

【紙谷市民局長】

前提として、町会の加入は任意ということは、これはどうしても変えられない。もう一つ、判例でも、町費の強制的な徴収はできないということも出ております。どうしても根底となる部分があるということで、なかなか難しいことはご理解をいただきたい。

そのような中で、さりとて、行政として何もしないということもあってはならないと思っておりますし、仕組みとしてそういった制度をつくるかどうかということについては、今この場で、つくりますということは申し上げられませんが、市としてまずできることは、施主であったり建築主であったり、そういったところに町会だけでなく、金沢市としてつなぐこと、このことがまず大事かなと思っております。町会が行っても門前払いであったとしても、金沢市が間に入ることによって、うまくいくことも想定されますので、そうなるようにしっかりとバックアップをしたいと思っております。

このような課題というのは、十分認識はしております。なかなか難しい課題かなということも理解はしております。ただ、現時点では我々ができることを精いっぱいさせていただきたいと思っておりますので、どうかご理解いただきたいと思っております。

【浅野川校下町会連合会】

今回、この答えをすぐこの場でいただきたいというわけではないんですね。難しい課題であること自体は、皆さんも含めて重々理解していることだと思うんですが、その中で、

要するに課題として受け止めて、それが何年後先なのか分からなくても、受け止めて対応していただけるのかどうなのかというところ。要は課題として本当に受け取っていただけるのかというところが一つ。あともう一つ、市が中に入っていて、今できることをやっていただく。それはぜひお願いしたいと思うんですが、ということであれば、そのところ成果として実際に出てくるのか出てこないのか。その評価をきちんとやっていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

【紙谷市民局長】

市として、このような課題があるということは十分認識をしております。今日この場だけでなく、市政連絡会でも、小坂地区のほうから同じような要望と申しますか課題がございました。そういった中で、では今何ができるかという中で、今回の諸江地区の事例については、市として可能な限りご協力をさせていただきたいということで、今調整をしているところでございます。

そこはご理解いただきたいと思っておりますし、その結果を踏まえて、間に入ったことでどうなったかというところについては、地域と十分連絡を取り合いながら、今後に生かせるように、地域コミュニティを活性化させたい、町会に入っていたいただきたいという思いは一緒でございますので、しっかりと検討してまいりたいと思っておりますので、どうかご理解をいただきたいと思っております。

【浅野川校下町会連合会】

ありがとうございます。ぜひ評価も含めて、よろしく願いいたします。

③人口減少対策（浅野川校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【浅野川校下町会連合会】

宅地造成に関して、皆さん道路を走っていると感じると思いますけれども、金沢方面から内灘方面に向かう途中の大河端町がすごく宅地が増えています。そこを過ぎるとピタッと田園風景が広がるわけですが、大河端から引き続き宅地造成が北間町まで続いて

いくものかなと思って町民も期待しているわけなんですけれども、その辺りの未来の計画といえますか、どのような形になっているかお聞かせいただければと思います。

【坪田都市整備局長】

金沢市の人口でいいますと、平成29年までは増加傾向でございました。やはり増えていく人口を受け入れる住宅であるとか、受入れ先をどんどん開発していかないと、人口増加に対応できないということで、大河端のほうまでは区画整理事業という、皆さんで土地を出し合って公共施設をつくったり、宅地化したり、いろんな施設を呼んだりとか、そういったことをやってきましたけれども、全国的にもそうなんですけれども、金沢市でいうと平成29年を境に人口が減少しております。

人口が減少している中で宅地を広げますと、先ほど1つ目の課題にもあったように、空き家、空き地が至るところで増え続けるという状況になってきます。なので、これ以上の宅地造成は、29年の前から実は金沢市のほうでは方針として、もうこれ以上の市街化は拡大しないこととおったんですけれども、引き続き人口減少の中で、これ以上宅地を広げることは、市街地や既存の集落の空洞化、空き家、空き地の増加を招くということで、これからは今ある集落を守っていくような方法がどうしたらできるのかというほう、まちづくりとしてシフトしているという考え方になっております。

【浅野川校下町会連合会】

人口減少というのは数年前から予測できるわけで、よく大河端まで宅地造成したなどというふうには考えております。理解できましたので、ありがとうございます。

④子育てに優しい環境整備（鞍月校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【鞍月校下町会連合会】

1週間ほど前に県政会議がありまして、馳知事にも鞍月の現状の話をさせていただいたんですね。そうしましたところ、今の状態は異常だというふうに知事さんのほうからも返答をいただきまして、ぜひ市長さん並びに各局長さんにも今の状態を知っていただいて、

検討していただいたらどうかというようなお話をいただいております。

児童館にしても120%で、待機児童を含め現状98名ですかね。本当は80名定員のところ98名なので、児童館の中にいることはできても、のびのびと活動することもできませんし、待機児童も七、八名とありますが、本当はもっとそれ以上にたくさんいるわけなんです。半ば諦めている状態。共働きが多いので、子供が熱中症警戒アラートが出ている中、どこにも行けない状態ですね。行く場所がないんですよ。

鞍月は区画整理もあって、まだまだ人口も、若い世代も子供の児童も増えていきます。今現在、切羽詰まった状態なんですね。なので、その辺は本当によく踏まえていただいて、子供が行く場所がないんだという。今、少子化問題、どうやった子供が増えるかというのに一生懸命取り組んでいただいている。せっかく大切な子供が鞍月で増えていって、将来、石川県でも税金を落としていただける、そういう世代が今現在、本当に切羽詰まって困っている状態を前向きな意見がいただけないというのは、本当につらいものがあります。

もっともっと皆さんが、地域の若い世代が困っているんだということを切に考えて検討していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【藤木こども未来局長】

貴重なご意見ありがとうございます。

今のお話を伺いまして、先ほどご質問いただいたお母様方も一緒ですけれども、子供さんの生育に対する思いというのは、本当に受け止めさせていただいております。

この場に一緒におりますので、また地域の方のお声をしっかりと聞いて、少しでも、少しずつでも進めることができることがないか、しっかり話をまずさせていただく機会を持たりたいなと思っております。ありがとうございます。

【鞍月校下町会連合会】

私、市の子育て支援課のほうで登録をいたしまして、ファミリーサポートをさせていただいているんですけれども、子育て支援課の富樫の場所、あそこはすごく遠いんですよ。鞍月から見たら。そして、ああいうところから人が来てコーディネートされるのは大変だという話も聞きます。それから、ファミリーサポーターのお仲間を増やしたいなと思っても、あそこまで行って市のサポート研修を2日間受けなきゃいけないんです。そういうのが近くにあれば、例えば駅西の保健センターのあの辺まで出向いていただけるとか、

市のああい子育て支援機関が、鞍月とずっと離れたところへ行くというのではなく、2つに分かれてしていただけるとすごくいいなと思ったことがあるので、その辺ご検討をお願いできたらなと思います。よろしくお願いします。

【藤木こども未来局長】

確かにちょっと南のほうで偏っているというところは分かりました。また今のご意見を伺って、検討させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

【鞍月校下町会連合会】

鞍月児童館です。例えば今年、待機児童6名、当館で出しました。定員も市のほうでは40名のところ、私のところ49名で増員してやっております。町会連合会会長、社会福祉協議会の会長さんとも、児童クラブができるかどうか検討している最中でございます。

何しろ30%の負担金が地元で負担せないかんというような大きな問題もありますので、一気にやるというようなことはできないと思います。

今年については、少し定員もアップせないかんのかなというふうにも感じておりますが、ただ、次の設置の手順について、こういうところから手をつけたらどうですかとかいようなアドバイスがいただければ、順次手をつけていきたいなと考えております。そういった点、ちょっとご指導いただければなというふうに思います。

【藤木こども未来局長】

今お伺いした件につきましても、具体的に前に進めていきたいというご要望を伺いましたので、再度、子育て支援課のほうと協議できるように段取りをさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

- ⑤「農業振興地域を維持する」「調整区域の部分的解除による賑わい創出」（川北地区）
「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、
レジュメを参考願います。

【川北地区町会連合会】

先ほど言いました東側の沿道サービスということですが、西側はちょっと無理か

と思うんですけれども、東西に延びる疋田・御経塚線の一部のところの沿道サービスも可能ではないかと思うんですけれども、その辺はどうなのでしょう。

もう一つ、先ほどの「おおらっこ・かわきた号」の件ですけれども、これに関しましては、ルートの変更をしたら助成金が増えるということで、一昨年、東金沢駅までルートを一旦延ばしました。そのときに一応助成金は何%かアップしていただいております。そのほかに、またどこかへ延ばしても助成金はアップするということなんですか。

【坪田都市整備局長】

疋田・御経塚線の恐らく浅野川近くのほうの田んぼのことをおっしゃっているのかなというふうに思いますけれども、どちらかという東山内灘線沿いはもう既に開発が進んでおまして、たしかスーパーとか電気店でしたか、そういったものがもう既に開発されています。調整区域だけなので、農振はかかってないかなと思っているんですけれども、まずはその開発の状況を見極めながらになろうかなというふうに思います。

東金沢駅からサッカー場に向かうのか、北鉄浅野川線の磯部駅からへ向かうのか、その辺の人の流れはまだよく分からないですけれども、今言われる疋田・御経塚線沿いに歩いていかれるということは、これは私の個人的な思いですけれども、なかなかないのかなというふうに今のところは思っています。

その辺は状況を見据えながら、ただ、調整区域ということもあるので、用途であるとか、いろんな制約はございますけれども、そういった中でできることは考えていかなければいけないかなと思っております。

【村角都市政策局長】

おおらっこ・かわきた号の支援のことです。

結論から申し上げますと、柔軟な対応はできるというふうに考えています。ただ、今の段階で、具体的な内容をもう少し改めてお聞かせいただきたいというふうに思います。

私も先月のお盆の前に、全部乗りますとかなり長いルートですので、半分ほど、終点は東金沢駅まで体験乗車させていただきました。病院に行かれる方、それから商業施設、スーパーに行かれる方、皆さん、ご利用いただいております。

ただ、まちの発展に伴って、例えば行く先々とか、まちの形態が変わるとそのルートの変更とか、そういった見直しは出てくるものというふうに認識しておりますので、改めて

具体的にご相談させていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

⑥災害時における安全な避難施設の確保（大浦校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【大浦校下町会連合会】

以前に大浦地区の災害対策ということで、市のほうから来ていただいて、いろいろご指導いただいたんですけども、そのときにやはり東地区の避難に関して、どこが近隣の要は高層施設を利用してというふうなお話がありました。でも結局は我々の近いところといったら佐川急便くらいしかないんです。そこを我々が直接行って交渉しなければいけないのか。どこをどう使わせていただけるのか。その点は非常に曖昧なんですね。

ですから、市のほうともしそこが適切であれば、一緒に行っていただいて、例えばそこを準避難所みたいな、そういう指定をしていただけると非常にありがたいと思います。

【上野危機管理監】

今程、佐川急便さんの名前も出てきましたが、私、今日のこの会に来る前に、大浦校下さんの付近に、どのような施設があるかを地図で確認してきました。そうしますと、8号線の田中交差点から大浦校下さんの方に向かって行く途中には、JAさんや、その関係の共済会館、また、今程お話のあった佐川急便さんなど、いくつかの施設があります。

大浦校下さんから一番近いのは佐川急便さんで、ここは7階建てになりますけれども、そのほか、先程のJAさんの関係施設は3階建てあるいは4階建てとなっておりますし、エクシール城東さんは3階建てとなっております。

これらの施設につきましては、今おっしゃったとおり、地元さんだけで直接お話に行きにくい点もあると思いますので、私どもに改めてご相談いただければと存じます。

その中で、私どもとしてお手伝いできることについても、お話をさせていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【大浦校下町会連合会】

エクシールとかJAさんへ行くよりか、学校へ行ったほうが近いんです。うちの近くと

しては、我々は佐川さんしかないというふうに認識しているんです。ですから、その辺でまたよろしくご協力をお願いいたします。

(4) 共通課題についての討議

北西部地域の交通対策

「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【大浦校下町会連合会】

最後の民間の商業施設のバスを運行するグループの話では、結構協賛者もいて今は無料だけれども、いつまでもただというわけにはいかない。やはりお金もかかるし、運転手不足もあり、例えば校下の中でタクシーか10人乗りのバスを回したい、そういうアンケートを取りたいと。全部の地区じゃなくて、例えば栗崎であったり安原のほうであったり、少しアンケートを取ってやりたいと。多少は負担金を取るような話はしていました。

私は、それは行政は知っているんですか、何か連携取るんですかといったら、いや、今のところありません。うちらだけでやろうとしているんやと。

例えばそれが可能ならば、地域で使って、そのかかる費用というものは各地区でのコミュニティバスの、川北さんは幾らかかっているの知らんけれども、負担がかかりますよね。それを町会連合会で持たないかんかなと思っているんです。

地域からご相談に行ったら、そういうこともあるということですか。

【村角都市政策局長】

様々な場面が考えられると思います。今の民間商業施設のバスの今後についての話は、この場で初めてお聞きしましたので、具体的にこうできますとは申し上げることはできませんが、金沢市が持っている地域運営交通の支援制度の中で、どういった対応ができるのか。先ほど大浦、川北のところでも申し上げましたが、今年度から支援制度も少し見直しをさせていただいて、柔軟な形になってきています。

ただ、金沢市域全体、郊外部を中心に地域運営交通を走らせておりますけれども、課題が地域によってまちまちなんですね。それぞれに応じた統一的な仕組みというのはなかなか難しいと思っておりますので、具体的にどういったことを考えられていて、将来的にど

ういったことを目指していくのか、個別具体的に相談をさせていただきたいと思います。

その中で、民間商業施設が運行するバスとの連携とかコミットの仕方とか、そういったことも生じてくるかなと思います。同じエリアの中で、民間商業施設が走らせるバスと地域運営交通が走らせるバスが一緒になっても、またお客さんの取り合いになりますので、どういった方法が考えられるのか、またご相談させてください。

(5) その他質疑応答

【浅野川校下町会連合会】

今回、金沢市のほうから地域の課題を聞いていただけると、こういう機会をいただいたことは非常にありがたく、感謝しています。

ただ、これまでの金沢市のこういう説明会というのは、何か課題だと思って行っても、その場限りでおしまいになってしまうことが多かったんですね。ぜひこのまちづくりミーティングでは、そういうことのないように、まず今回挙げた課題が、次回きつとあるんですよね。来年か分からないですが、その初めに、この課題がそのときどうなっているのか、どう対応したのか。そういう報告から始めていただきたい。

それと、今日、限られた時間なので、いただいたお話に納得できないことがやはり何点かあるんですが、それを質問している余裕はないものですから、それをまたきちんとこちらのほうから質問させていただいて、その回答をいただけるという道、ルートをちゃんとつくっていただきたいということで、ぜひこういう機会をきちんと発展的に、成果として見える形に持っていけるようなミーティングにさせていただきたいというのがお願いします。

【司会】

ありがとうございます。このまちづくりミーティングにつきましては、3年で市内全域を一巡することを計画しております。ですので、次回開催するのは3年後以降になる見込みです。その際に、また報告させていただこうと思っております。

【諸江地区町会連合会】

そういうやりっぱなしじゃなくて、どういう方向性で行くかというのを。うちも7月23日に諸江のほうでタウンミーティングをやったんですけども、やりっぱなしにならないように会報紙を出しまして、会報紙で皆さんにお知らせするというのをやるんですが、

市のほうもその辺り、検討していただきたいなと思います。

(6) 市長まとめ

【村山金沢市長】

今日、長時間にわたってご議論いただきまして、ありがとうございました。

各地域のお話、課題を話し合う場として、こういう場が設けられて、本当によかったなと思っています。

そして私からは回答せずに、ずっと局長からという形でさせていただきました。ずっと答えをしたい場もあった中で、局長が全て答えているというのは、局長まで、事務レベルまで下ろして、そこで課題を検討し、そしてまた、いただいた課題を捉まえているということの証拠でもあります。そして、それが市長の下でそれを聞いているということで、その課題をしっかりとやらなければいけないなということを認識してもらっています。

その上でですが、簡単に解決できる課題とそうでない課題がやはりあります。この地区だけの課題ではなく、他地域での課題、あるいは他地域では進んでいることに対して、そちらの地域では自主的にやっていることに対して、どう折り合いをつけていくか。この全市的な制度をつくらなければならないという中であって、課題がなかなか追いついていかないというところもありますし、また、市民生活のレベルでは課題なんだけれども、ひょっとしたら違法性を帯びてしまうことがあるかもしれないというようなこと。これは最初に諸江地区からいただいた課題でもありますけれども、例えばマンションの建築の許可、認可などをするとき、共益費の中に町会費を入れてはどうかみたいな提案をした場合に、それが訴訟問題になるかもしれない。それによって建てられないという不利益が及んだ場合にはどうなるのか。そんなことも考えなければならないので、こういったところは先進的なうまくいっている事例なども研究しながら、また、弁護士さんなども相談しながら、法的な解決をどうするかを考えながらやらなければいけないと思っています。

そんな中で、金沢市としてできることは、例えば新しいマンションができたとなると、そこに移住する。その場合に、どのように町会加入の意義を分かりやすく訴えていくか。そんなことぐらいはできるんじゃないかなと思っています。

そして、浅野川校下連合会さんからは、少子化について様々な提言をいただきました。また、公務員について、国家公務員、地方公務員だけでなくて教員についてもということでもあります。

私、金沢市に来るまで、市長になるまで、地域に飛び出す公務員ネットワークという全国的な組織に入っていました。公務員が地域で果たす役割の重要性について深く認識していた立場であります。というのは、町会や各地域で活動することによって、その町での課題をどう解決したらいいかということを経験的にも分かるし、その補助申請などがあるとすれば、あるいはその補助制度がどんなものがあるかということを探られるし、その申請書の書き方までも、公務員はそういった能力が発揮できると思っています。

先ほど総務局長のほうから紹介がありましたけれども、これからも、そんな制度があるということを職員に対して投げかけていきたいと思っています。

鞍月校下のほうからも、子育てに優しい環境ということでご提言をいただきました。国のほうでも、こども家庭庁ができて、これから加速度的にこども施策が出てくると思っています。その動向にも倣いながら、そして、馳知事にも放課後児童クラブの現場を視察いただいたということですので、県のほうも何らかの積極的な政策を考えられるであろうと思いますし、私のほうも県とも相談をしていきたいと思っています。

例えば、子供の医療費の助成の拡大について、馳知事になってから、乳幼児に対する医療費の拡大をされておりました。それをもって我々も高校までの入院に係る費用の負担について助成を拡大することができました。県のほうが様々な子供施策を行っていただくことによって、我々も独自の財源を得ることができると考えております。これからも県のほうにも働きかけていきたいと思っています。

栗崎のほうでは、御旅屋の話をしていただきました。地域の歴史は地域づくりの大きな財産であると思っています。また、栗崎については、クルーズターミナルも近いということで、これに連動した活性化の期待できると考えています。

金石、大野については、いろいろこれまでやることができたけれども、浅野川線が延びて宅地化が進んだ栗崎について、どのようにしていくかということは、一つ大きな課題がありました。公民館長さんがかなり熱心に地域の歴史の掘り起こしをさせていただいておりますので、また魅力づくりについて我々も一緒になって考えていければと思っています。

そして、川北地区からの農業振興地域等のお話がありました。ここの回答の一番最後には、地域における具体的な課題等があればご相談したいとくくっておるんですけれども、実際に具体的な課題があると承知しております。県や市、JA等の関係機関の方と定期的に会合を持ったらいんじゃないかなと思っています。

今回、人・農地プランの地域計画を策定するということですが、農地に関わる方々

の課題を的確に捉えるというためには、課題がなくても顔を突き合わせるという場が欲しいなと思っています。そんなことも、これからできればと思います。

ということを局長の前で言っていますので、よろしくお願いします。

大浦地区、災害時の避難の場所の確保等、非常に重要だと思っています。偶然ですけども、おととい、佐川急便さんとの間で大規模災害時の配送業務などについての協定を結ばせていただきました。これが第一歩だと思いますし、これから受援を受けたときのどういふことをやるかというようなことも、訓練を一緒にやっていきたいなとも話をしています。これから佐川急便さんと金沢市とのほうでも関係が深くなっていきますので、避難の可能性についても、これを切り口にして話ができるのかなと思っています。

最後に共通課題として、この地域、浅野川線が通っているというのは非常に大きな資産だと思っています。これをぜひ生かした動きができればと思っていますし、これは浅野川線のこれからの存続についての大きな力になるとと思っています。

これから、2050年をゼロカーボンシティとゼロカーボンの宣言にしている年になってきますけれども、今2023年、これからあと25年近くもたてば、そういった時代になっていく。車の買替えも2回やればそのような時代になっていくとなると、ゼロカーボンに向けて公共交通をいかに維持していくかというのが課題になるかと思っています。

また、そのほか生活の中で、交通弱者のためにどうしていったらいいかということは考えなければいけないという時代になってきていますので、民間事業者、大規模商業施設が仮に行っているものであれば商業施設への誘客というのが一番だと思いますけれども、その中でどういう協力をしていただけるのか。これは民間と公共との連携ということで、できる部分は相談していきたいと思っています。

今ご提案いただいた民間事業者については、これから検討、研究をさせていただきたいということになるかと思っています。

また、モビリティハブについて、重要な関心を寄せていただいているということは非常にうれしく思っています。金沢港クルーズターミナルの本来の役割となると、クルーズで来た方の交通ということになりますが、あそこに広大な敷地がありますので、その活用の仕方について何ができるかということは研究の一つの課題になると考えております。

ということで、大体10分くらいになりました。網羅的だったかというのと、必ずしも十分ではなかったところはあるかもしれませんが、また引き続き様々な形で、また今日、市議会議員の先生方も来られていますので、地元の先生方にも通じていただいて、ご相談

いただいて、地域の課題をなるべく一つでも解決できるように進めていきたいと思っております。

今日はありがとうございました。